

「ASP・SaaSの情報セキュリティ対策に関する研究会」の目的及び検討スケジュールについて

総務省 情報通信政策局

情報セキュリティ対策室

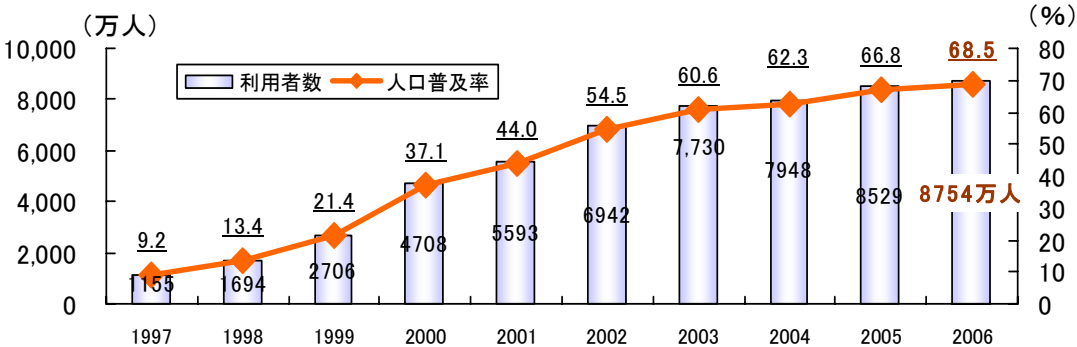
2007年6月21日

研究会開催の主旨(目的)

- ・ 我が国におけるブロードバンド環境の進展(Ⅰ)
 - 国民生活、社会経済活動におけるICT依存
- ・ 国際競争力、生産性向上への取り組み強化(Ⅱ)
 - ASP・SaaSの普及促進
- ・ ASP・SaaSが安全に利用できる環境の整備(Ⅲ)
 - 情報セキュリティ対策の確保
 - ・ 事業者の信頼性
 - ・ サービルレベルの保証

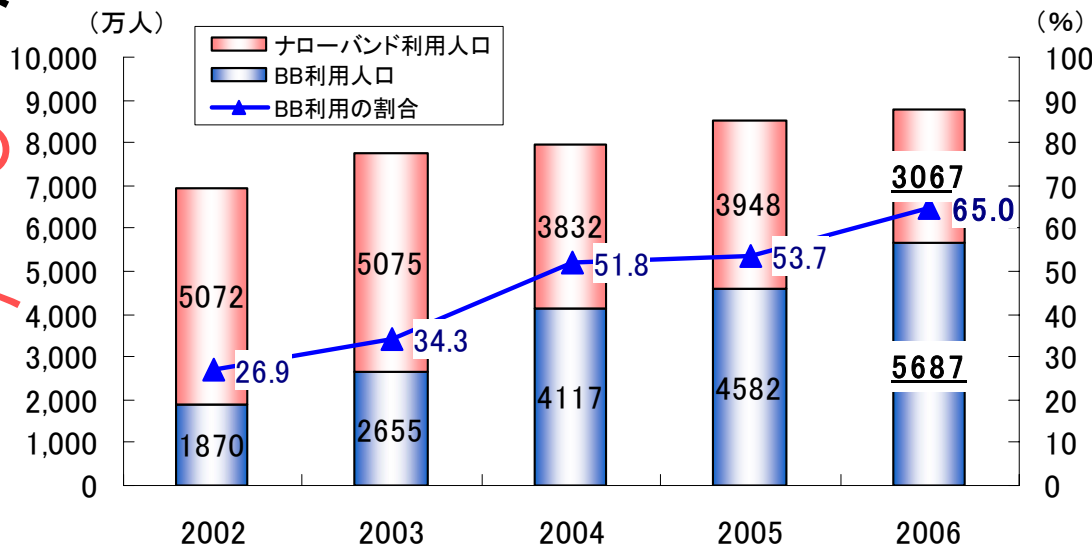
I. 我が国におけるブロードバンドの進展

国民の7割近くがインターネットを利用
 (2006年末での我が国のインターネット利用者は8,754万人[←前年比225万人(2.6%)増])



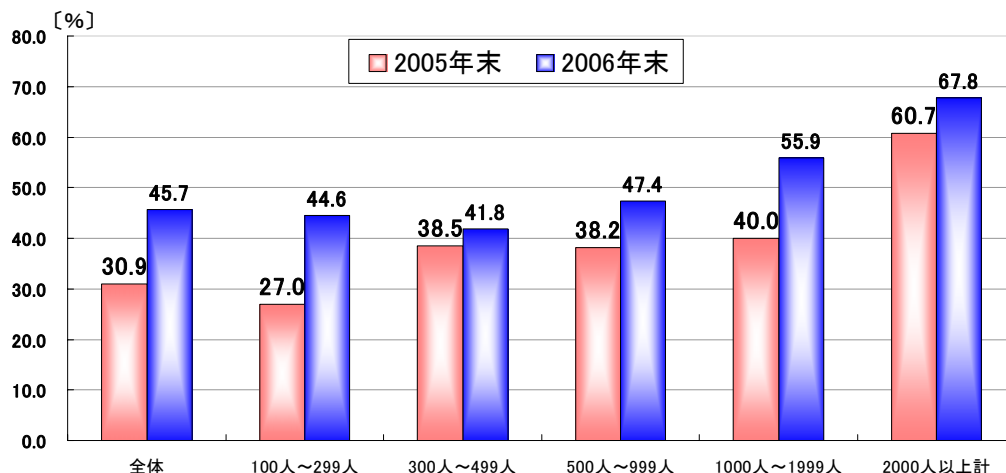
出典:平成18年通信利用動向調査(平成19年5月25日)より

常時接続・ブロードバンド化の進展
 (2006年末でのBB回線の利用者数(世帯構成員数)は、5,687万人。インターネット利用者に占める割合は、65.0%)



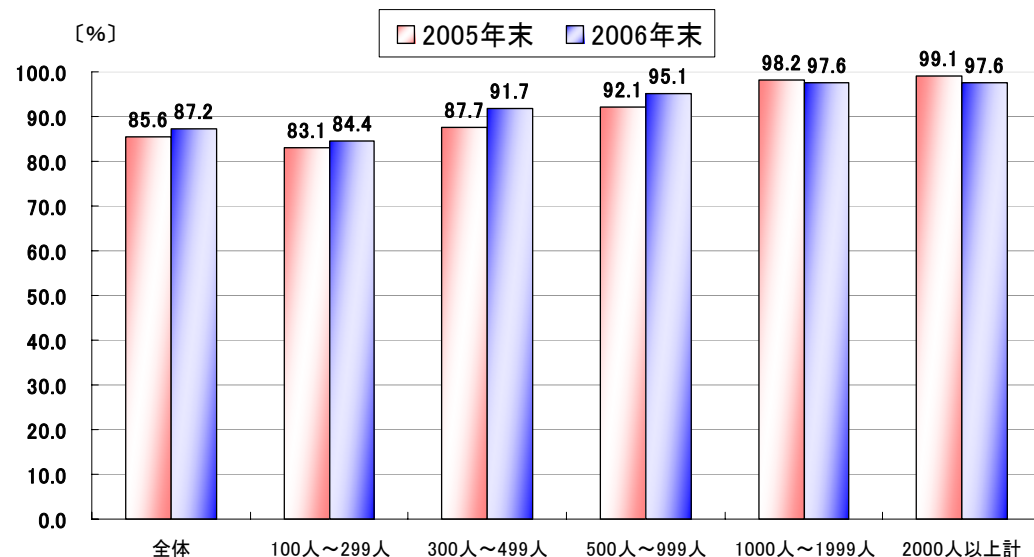
出典:平成18年通信利用動向調査(平成19年5月25日)より

- 電子商取引の実施状況
45.7%の企業が電子商取引を実施
(前年比14.8%増)



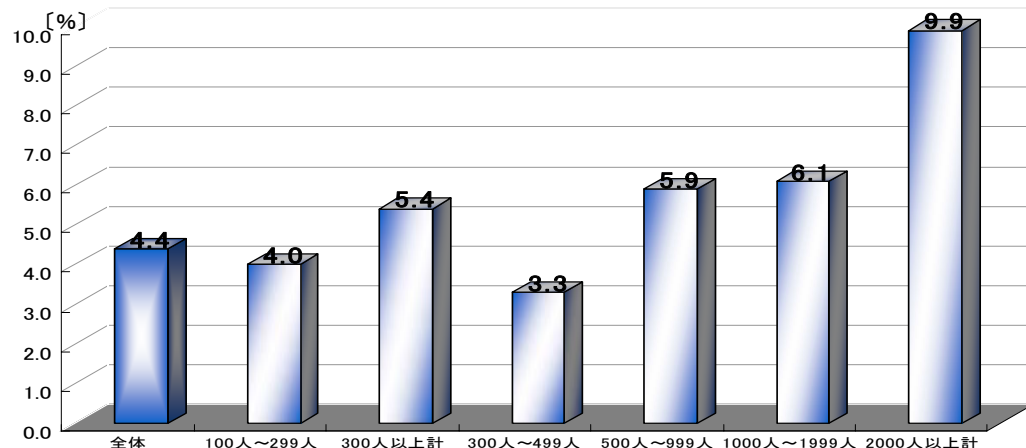
出典:平成18年通信利用動向調査(平成19年5月25日)より

- HPの開設率
87.2%の企業がHPを開設し、情報発信手段として広く普及



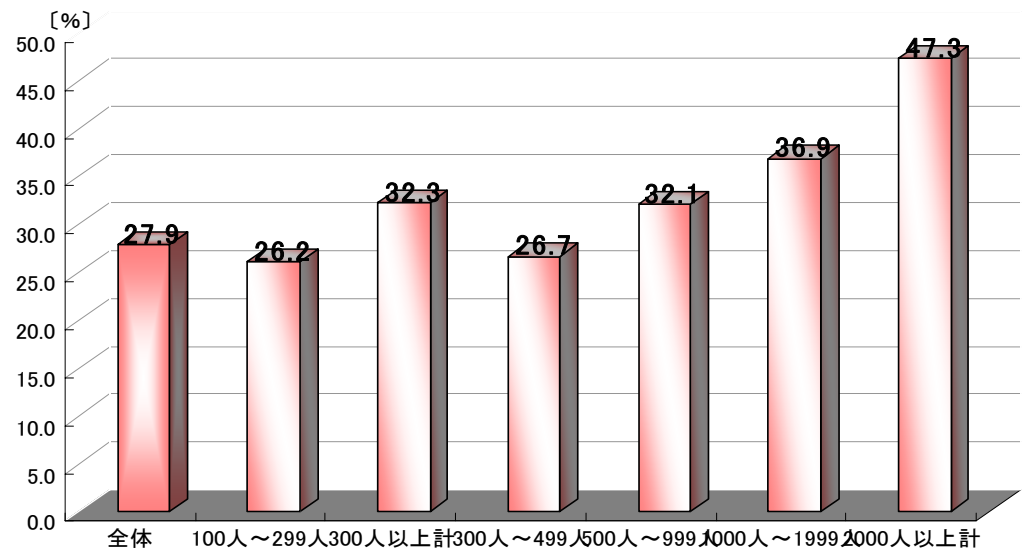
出典:平成18年通信利用動向調査(平成19年5月25日)より

- ブログ、SNSを開設している企業は4.4%。
 従業員2000人以上の企業では、9.9%（約10社に1社が開設）。



出典：平成18年通信利用動向調査（平成19年5月25日）より

- インターネットを利用した広告を実施している企業は、27.9%。
 従業員2000人以上の企業では、47.3%と約半数。



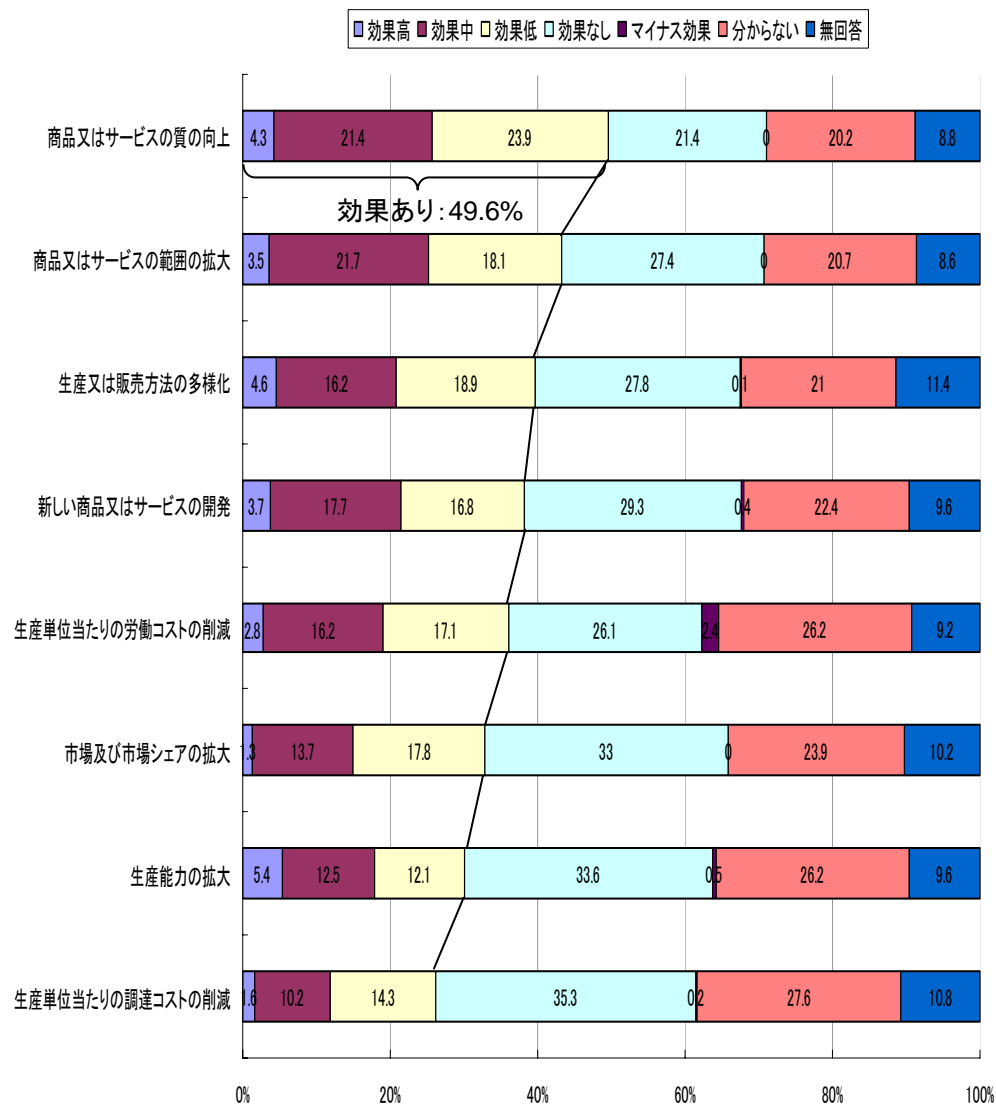
出典：平成18年通信利用動向調査（平成19年5月25日）より

情報化投資の効果の程度

「商品又はサービスの質の向上」で「効果あり(効果高・中・低)」は、49.6%

「商品又はサービスの範囲の拡大」は、43.3%

「生産又は販売方法の多様化」は、39.7%



出典: 平成18年通信利用動向調査(平成19年5月25日)より

Ⅱ.国際競争力、生産性向上への取り組み強化

「成長力加速プログラム」(平成19年4月25日:経済財政諮問会議)

- 人口減少社会に直面
 - 活かに満ちた経済を築くこと
→ 我が国の喫緊の課題
 - 戦後の経済システムからの脱却
→ 社会変化に対応した新たなレジーム
→ 生産性の向上、高い潜在力の発揮
1. 成長力底上げ戦略
 2. サービス革新戦略
 - » ITによる生産性向上
「…ASPやSaaSなど中小企業にとって使いやすい新たなサービスの普及促進のための共通基盤の整備等環境整備を促進する。」
 3. 成長可能性拡大戦略

「ICT国際競争力懇談会 最終取りまとめ」(H19.4.23)

- 経済成長、生産性向上の基本戦略

- ASP・SaaSの普及促進

- ①安全・信頼性指針の策定及びこの指針を充たしている事業者の認定制度の構築
- ②多様なASP・SaaSを相互に活用可能とするため、インターフェースの公開、標準化の促進
- ③ASP・SaaS利用にあたっての企業情報データベース等の構築
- ④ASP・SaaS等の相互利用に関する諸外国との連携

「ICT改革促進プログラム」(H19.4.20)

- 生産性向上のためのICT共通基盤の整備

「・・・ASP・SaaS等の新たなネットワーク・サービスの普及促進のための環境整備などICT共通基盤の整備に取り組む。」

「IPネットワーク設備委員会報告」(H19.5)

「ネットワークのIP化に対応するために必要な検討課題のうち、『**情報通信ネットワークの安全・信頼性対策に関する事項**』を検討」

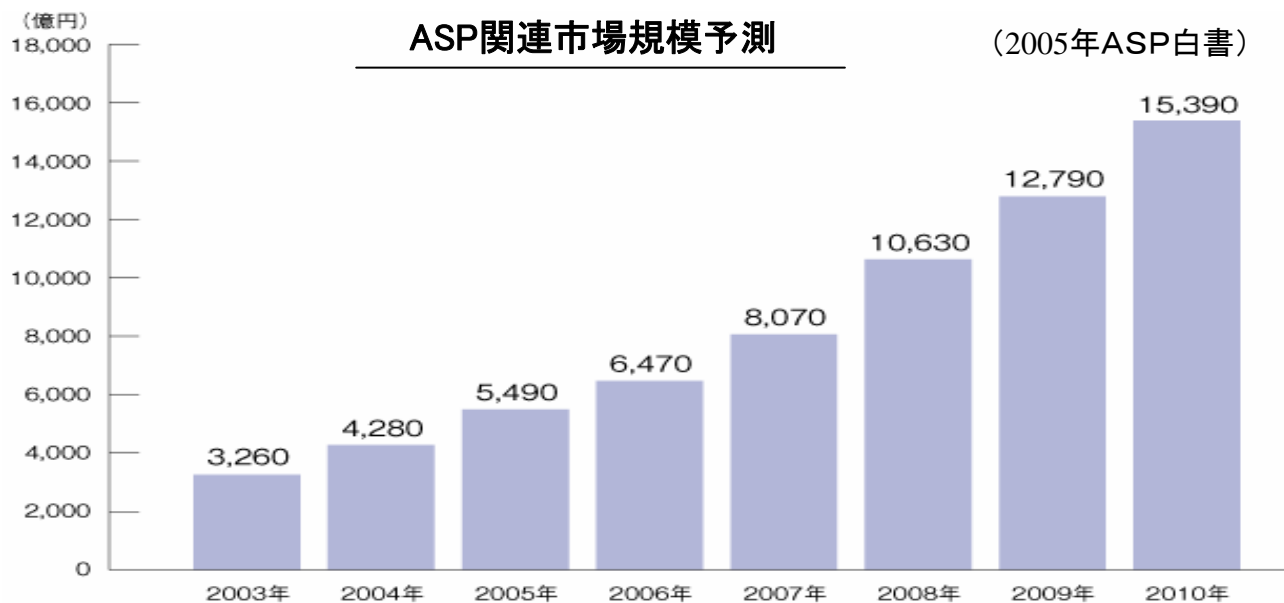


「情報通信ネットワークの安全性・信頼性向上に関するガイドライン等の活用及び利便性の向上」

- 「国や業界団体等で定めているガイドラインの活用について周知徹底を図るとともに、**技術革新やサービスの多様化、国際標準化の動向を考慮したガイドラインの作成、更新、複数ガイドラインの整理・統合など・・・**」
- 「さらに、**ネットワークを通じて必要なアプリケーションの機能を提供するサービスなど、ネットワークの高度化や技術革新により生まれる新しい電気通信サービスに関する情報セキュリティ対策等**について、ネットワーク環境や市場、国際動向等の変化に応じて、随時対応することが必要である。」

「ASP・SaaSの動向」

- ICT資産の所有から利用(アウトソーシング)へ
- 多様化から連携へ
- 今後年率30%で拡大と予測



注:ASP関連市場には、セキュリティ・ホスティング等のデータセンターを含む。

情報通信白書2002のASP市場予測、データセンター市場規模予測、eラーニング白書のeラーニング市場のうちシステム事業に分類される事業のベンダー売上げとASP化が見込まれる領域の売上げ、e-Japan関連予算のうち、「行政の情報化及び公共分野における情報通信技術の活用」に対する予算額、ASP関連市場に投下される予算額について、それぞれパラメータを設定して推計した。

Ⅲ.ASP・SaaSが安全に利用できる環境の整備

■ASP・SaaSの情報セキュリティ対策

- 事業規模も多様である中、十分な対策が施されていたか。
- 或いはどの程度の対策を講じるべきか、不明瞭であったのではないか。
- 利用者に対して、必ずしも十分な説明、情報開示が成されていなかったのではないか。



サービスの十分な安全性・信頼性を確保するための**情報セキュリティ対策の明確化**が必要

検討事項

- 対象とするASP・SaaSの範囲
 - ASP・SaaSとは？
 - 事業規模、事業内容、システム構成
- 情報セキュリティ対策の現状・問題点
- 情報セキュリティ対策関連の規定、ガイドライン等の把握
 - 既存の基準・ガイドラインの整理
(業界別、システム系、マネジメント系)
- 具体的情報セキュリティ対策項目(及び基準)
- その他(将来の課題等)

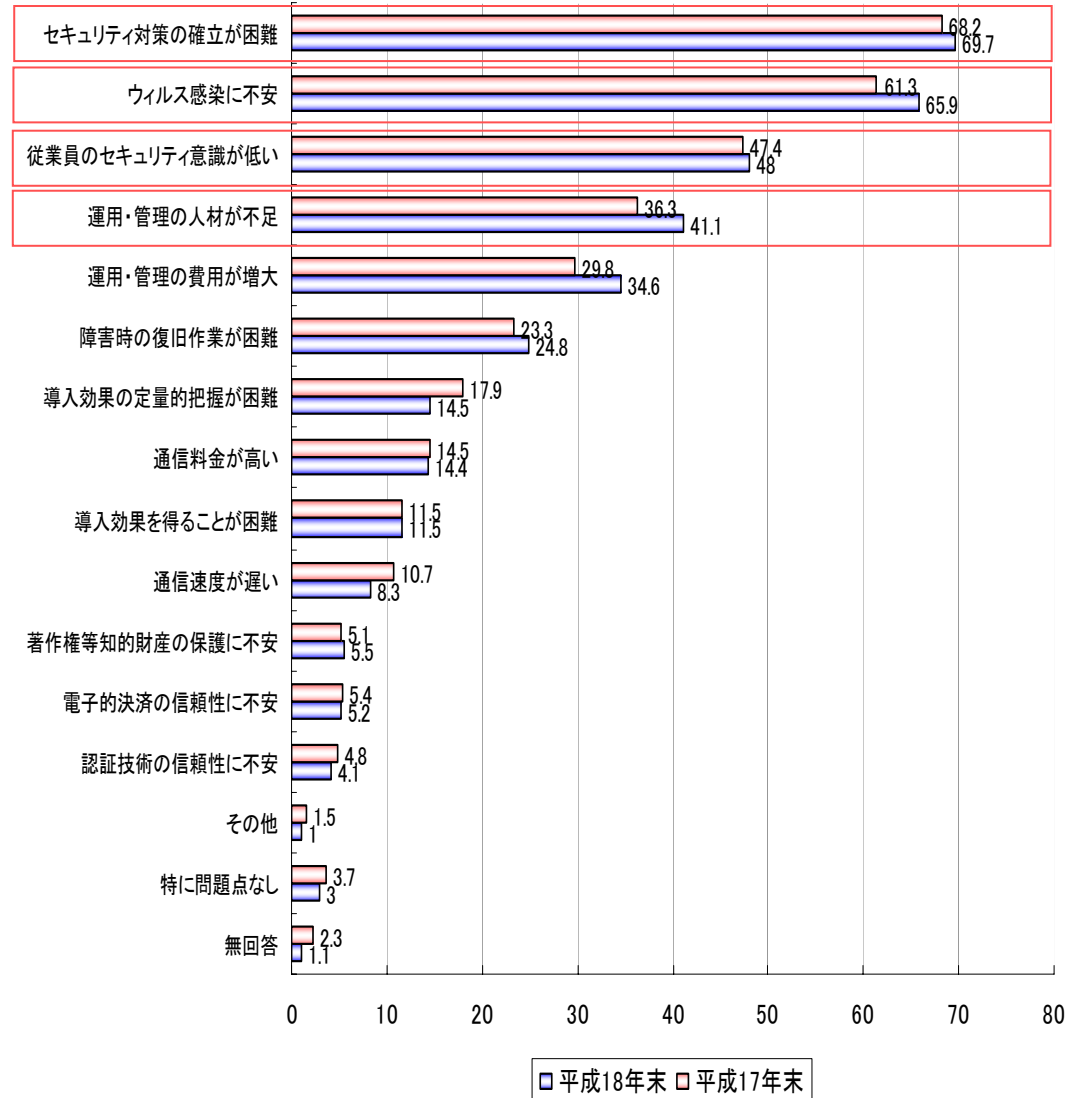
(参考)

情報通信ネットワーク利用上の問題点(企業)

「セキュリティ対策の確立が困難」が69.7%

「ウィルス感染に不安」が65.9%

その他「従業員の意識」、
「運用・管理の人材が不足」



研究会の進め方

- 第1回(6月21日)
 - 目的、スケジュール
 - ASP・SaaSの現状
- 第2回(8月上旬)
 - ASP・SaaS事業者における情報セキュリティ対策の実態
 - 関連する各種基準・ガイドライン等、及びその対応状況
- 第3回(10月上旬)
 - ASP・SaaSの情報セキュリティに関する課題の整理
 - ASP・SaaSの情報セキュリティ対策の方向性
- 第4回(12月上旬)
 - ASP・SaaSの情報セキュリティ対策(報告書骨子案)
- 第5回(1月下旬)
 - 報告書取りまとめ